



すくすく



附属小学校
生活部だより最終号
令和8年3月13日

1年間、ご理解・ご協力、ありがとうございました

今年の冬は、愛媛県内でも寒暖差の大きい日が続き、強い寒気の流れ込みによる冷え込みや、雪の便りが聞かれる日もありました。そのような中、本校の観察池のそばで見守っている梅の花も、例年より早く咲き始め、可憐な花を咲かせています。自然の中に確かな春の気配を感じるとともに、子どもたち一人一人が日々の学校生活を大切に積み重ね、確かな成長を遂げてきたことを実感します。昨年4月と比べると、心も体も一段とたくましくなった姿が随所に見られます。毎年のことにはなりますが、生活部だよりのタイトルの通り、今年度も子どもたちは「すくすく」と成長しました。

さて、6年生はいよいよ卒業の時期を迎えました。今年のテーマである「翠」には、未来に向かって羽ばたくという願いが込められています。漢字の「羽」と「卒」が表しているように、可能性に満ちた皆さんが、それぞれの未来へ力強く歩み出していくことを心から願っています。6年間の歩みを振り返り、支えてくれた家族や友達、関わってくださった多くの方々への感謝の気持ちを胸に新たなステージへと進んでください。

先日開催されたミラノ・コルティナオリンピックでは、日本人選手の活躍が大きな感動を届けてくれました。特に、フィギュアスケート・ペアでショートプログラム5位から大逆転で金メダルを獲得した三浦璃来選手・木原龍一選手組（りくりゅうペア）の姿は、多くの人々の心を打ちました。思うようにいかない状況の中でも、自分たちを信じ、努力を重ね、最後まで挑み続けた姿勢は、子どもたちにとっても大切な学びとなります。困難に直面してもあきらめず、一步一步前へ進む力を、これからも育んでほしいと願っています。

今年度も、子どもたちの笑顔と、保護者の皆様の温かいご理解・ご協力に支えられ、教育活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。来年度も、子どもたちが充実した学校生活を送ることを大前提に、教職員一丸となって教育活動のさらなる充実に努めてまいります。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。今年度も多くの方々に「すくすく」をお読みいただき、ありがとうございました。
(生活部長 玉井 淳博)

つながる心、広がる笑顔 一校内遠足ファミリー活動一

3年連続校内遠足！来年こそは遠足に行くぞと意気込んで、とうとう3年という年月が流れてしまいました。今年も校内での遠足になりましたが、子どもたちはそんなのお構いなし！時間の許す限り、楽しく過ごしました。教室に到着するや否や、リュックサックからお菓子を取り出して、「こんなの、持ってきました！」アピールに勤しむ子が続出（笑）。雨で公園に行けなくても、子どもたちが楽しみにしていることは時代を問わず変わらないようです。

各組団で、時間割毎に各学級、ファミリー、組団で楽しく過ごすのが校内遠足のスタイル。体育館で組団・ファミリー対抗戦に挑む時間になると、子どもたちの興奮は最高潮！「跳びたい、駆けたい、踊りたい」の勢いそのままに体育館に響き渡る元気な声。5年生の計画・進行のもと、縄跳びリレーなどのファミリー対抗種目で一気に盛り上がりました。

そして、お待ちかねのお弁当&おやつタイム！プチファミで円になってうれしそうにお弁当を食べる子、お弁当より先にお菓子を頬張り出す子、お菓子とお弁当を同時並行で頬張り出す子……。お日様の下、みんなで過ごすことはできませんでしたが、おしゃべりしながら楽しく食事をすることができました。子どもたちは、学級で、ファミリーで、組団で、普段なかなかできない活動を通して、仲間とのかかわりを深めることができましたようです。

今年は熱中症対策や感染症予防で、異学年で交流する機会がかなり減ってしまいました。しかし、高学年が低学年を支える姿、低学年の子たちが「お兄ちゃん、お姉ちゃん、大好き」と笑顔で声を掛ける姿は、今後も大切にしていきたいところです。校内遠足とはなりましたが、ファミリー活動の締めくくりとなる素敵な一日にすることができました。ファミリーを支えてきた6年生、ありがとう。そして、これから引っ張っていく5年生、よろしくね！
(生活部 河野 幹大)

保健室・相談室より

保健室のメンバー（養護教諭・保健室支援員・スクールカウンセラー）から1年間を終え、一言ずつ感じたことをお伝えします。

今年度も保健室でたくさん子どもたちに出会いました。「今日、〇〇で保健室に行ったよ!」とご家庭でも会話の中に出てくることではないでしょうか。けがや体調不良で保健室へ来室したときに不安そうに入ってくる姿から、少し休んで元気になったり、手当てをして笑顔で教室へ戻っていったりする姿を見ると、私の心も元気になりました。

身体計測を通して、体の成長を感じました。保健室での会話を通して、心の成長を感じました。1年間を通して、子どもたちは体も心も大きく成長しています。季節の変わり目には体調を崩しやすく、行事の前後には疲れが出やすい・けがをしやすいなど、1年の中でも子どもたちの体と心はゆっくりと変化しています。多くの経験の中で、自分の体調や気持ちの変化に気づき、整えることが少しずつできるようになるといいなと感じています。

1年間、ご家庭でも日々の健康管理をありがとうございました。これからも、子どもたちが安心して過ごせる保健室でありたいと思います。

来年度もたくさん子どもたちに出会えるのを楽しみにしています。 （養護教諭 砂野 美和）

この1年、学校生活の中ではもちろん、身体計測・検診などの保健行事などを通して多くの子どもたちとかわることができました。その中でも、手当てなどをしたあとに表情がぱっと明るくなる姿や、学年かわらず友達のけがや体調不良を心配して寄り添おうとする姿が印象に残っています。

また、季節の掲示物を作成していたのですが、子どもたちがそれに関心を持って見てくれていたのがとても嬉しかったです。1年間ありがとうございました。 （保健室支援員 柚山 由紀野）

今年度もスクールカウンセラーとして、子どもたちや保護者の皆さまと関わる機会をいただきました。子どもたちは、日々の生活の中で感じる悩みや不安を言葉にしなが、自分自身と向き合い、少しずつ前に進もうとする姿を見せてくれました。面談や日々のかかわりを通して、子どもたちの思いや頑張りに触れる貴重な時間となりました。保護者の皆さまには、相談活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健やかな成長を温かく見守っていただけますと幸いです。 （スクールカウンセラー 高橋 寧々）

* 来年度の相談日は、4月以降にお知らせします。

